



《東京都中学校長会》

3月会長だより

令和2年3月10日（火）

（地区代表者連絡会）

会長 酒井 泰

1 挨拶

令和元年度(平成31年度)もいよいよ最後の月となりました。学年末の忙しさは例年のことですが、今年度はこれまで経験したことのない対応をすることになりました。新型コロナウイルスの感染防止の徹底を図るために、都内の多くの学校で3月2日(月)から一斉に臨時休業の措置をとることになりました。今回の臨時休業はその後の春季休業とつながるため、多くの学校で新学期までの長期間の休業となりました。突然の発表だったため、各学校では、今後の明確な見通しが立たない中、短時間に様々な対応を迫られ相当な労力を払われたことと思います。

今回の措置については、2月下旬から3月15日までの学校行事等の見合わせなどの指示があったことから、ある程度の予測は立っていたかもしれませんが、発表の翌日が最後の登校日となってしまった学校が多く、大きな戸惑いを感じながらも必死に対応をされたのではないのでしょうか。

今後の感染の広がり状況に応じて、現在の対応方針に変更があることも予想される中、迅速かつ確かな対応が学校現場に求められています。3月の地区代表者連絡会では、情報交換の場で「新型コロナウイルスへの対応」について協議する予定でしたが、会議の開催を見送らなければならない状態であり、各地区の対応状況を把握する機会がなくなりました。

非常時は「情報が命」だと思います。今こそ本会のネットワークを活用して、各地区の状況について把握し、情報発信していく予定です。

さて、3年生の入学選抜関係の日程については、ウイルス感染を防止する配慮を行いながら、基本的には予定通り進められています。3月2日に都立高校の合格発表があり、進路が決定した生徒もいますが、次善の策を講じなければならない生徒もいると思います。全ての生徒の進路が無事に決まることを願うばかりです。

また、各学校では、卒業式の実施形態の検討を進めながら、入学予定者数の確認など次年度に向けた体制づくりを進めておられると思います。本会でも、皆様の善意とご協力により、次年度の組織づくりが順調に進んでいるところです。引き続きご協力いただく役員の皆様方に心よりお礼申し上げます。

最後に、今年度をもってご勇退される校長先生方におかれましては、東京都の中学校教育の発展・充実のためにご尽力くださり誠にありがとうございました。心から敬意を表し感謝を申し上げます。ご退職される先生方の中には、再任用として引き続き学校経営に当たられる先生方もいらっしゃいます。くれぐれもお体に気を付け、ご活躍されることをお祈り申し上げます。私自身も退職の年度に会長という大役を仰せつかりました。この1年、自分なりに努力してきましたつもりですが、十分な働きができなかった面もあります。役員や会員の皆様方にお力添えをいただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2 当面の課題

(1) 都立高等学校入学選抜関係

今年度入学選抜おける課題や問題点を進路指導対策委員会において集約しています。今後の中学校の進路指導のあり方や次年度の進路対策、入学選抜の検討にも役立つものと考えています。今後、進路対策委員会の先生方にもご協力いただきながら、本会として

情報収集を進め、次年度の進路指導の充実のために活用していきたいと思ひます。

また、例年同様に願書出願時における提出書類のミス等についても、今年度の状況を把握し、書類の記述内容や提出上のミスを共有し、極力減らす努力を続けていきたいと思ひます。各地区の進路対策委員の先生方を通じて啓発していきたいと思ひます。

(2) 人事異動について

令和2年2月28日に、各地区で教員の異動内示が行われました。今後、新規採用教員、期限付任用教員等の内示と進んでいきます。例年、教職員異動に関する課題等の情報把握と緊急課題等の情報交換を地区代表者連絡会で行っています。今年度については、3月の地区代表者連絡会の開催が見送られたことから、令和2年度4月の地区代表者連絡会で実施することになると思ひますが、それまでの間に事務局に情報提供をしていただいても結構です。よろしくお願ひいたします。また、今年度の教員採用試験も倍率が低い状況でしたので、新規採用教員の意欲と力量に若干の不安を感じるどころです。例年通り、異動に関する課題や新規採用教員の配置の状況等についても把握して行きたいと考えています。

(3) 新年度の施策等について

本年2月の区市等校長会長連絡会において、令和2年度都教育庁新規施策等についての情報提供をいたしました。新たな「東京都教育モデル」の実施に向けた取組やスクールサポートスタッフや部活動指導員の配置拡充、TGGと同等の特徴を備えた体験型学習環境を多摩地区で整備することを検討するなど、指導面、人事面の両方から学校を支援するための施策が行われます。また、新学習指導要領の実施に向けて、評価の在り方についての取組や英語科の4技能を捉えた指導と都立高等学校の入学者選抜の4技能検査に向けた取組など、授業づくりや教育課程編成の見直しにも関わるものもあります。

3 連絡・報告事項

(1) 各種事業の中止について

本年2月の区市等校長会長連絡会以降、実施が予定されていた次の事業が新型コロナウイルスの感染防止のため中止または中止の予定となりました。

- ①都中学校教育研究会総会（2月27日）
- ②高度IT社会の工業高校に関する有識者会議（第3回）（3月4日）
- ③東京都養護教諭研究大会総会（3月6日）
- ④古岡奨学会「東京都奨学生卒業入学激励会」（3月15日）

(2) 令和2年度の東京都中学校長会定期総会に向けて

令和2年4月23日(木)に、サンパール荒川において定期総会が行われます。荒川区を中心に第5ブロックの先生方にご協力をいただき、準備を進めているところです。1月20日に拡大実行委員会が開催されました。すでに、第5ブロックの先生方が総力を挙げて準備を進めてくださっていることに感謝申し上げます。本会としても大会の準備を進めたいと思ひますが、総務部の先生方には大会運営で、教育対策部の先生方には研究発表で、会計部の先生方には顕彰でご尽力いただくこととなります。これから大会まで、年度替わりもあり何かと忙しい中とは思ひますが、よろしくお願ひいたします。また、各地区におかれましては、すべての会員が出席するよう、呼びかけにご協力ください。特に、ご勇退いただく方々とともに、新補校長の方々に確実に当日の時程や新補者紹介をご連絡いただき、ご出席いただくよう、よろしくご準備のほどお願ひいたします。

(3) 高度IT社会の工業高校に関する有識者会議(第3回)について

上記(1)②で中止と記載していますが、会議開催に代わって、委員に対して意見聴取が行われます。内容は、有識者会議による提言をまとめるための意見の取りまとめです。